

踏まれ踏まれても生き返る

NO.20 2025.3.3

COM-MATCHAN

いたばし雑草通信

編集：発行 木村松夫
090-8646-9757

matsuokimura@gmail.com

com-matcham@hotmail.co.jp

メール発信のみの情報紙です。無料購読希望の方はメールでお申込みください。

板橋区立エコポリスセンター「かんきょう観察員」

地域自主活動グループのページでも閲覧できます。ほかのグループも見てください→ <http://ow.ly/nqgc50AoMDs>

つかの間の春

気候も世界政治も、先行き不透明な時代に

3月に入って1日、2日は4月の陽気。久しぶりに石神井川緑道の植物を観察しながら歩きましたが、ジャンパーを脱いでもまだ汗ばんでくるような暑さでした。このまま行けば東京は亜熱帯どころか熱帯になってしまうような高温気候。これがまた今日（3/3）は寒～い冬に逆戻り。この10年来の気候大変動はいよいよ深刻に！

ウクライナに対して「戦争を終わらせるから希少資源の利権を寄せ」と火事場泥棒のようなことを言うアメリカはついに世界の盟主の位置からずり落ちて、ロシア、中国、北朝鮮なみの強権的独裁的国家になり下がってしまいましたが、世界政治もこれまで通りにはいかなくなっている大変な時代になりました。

久しぶりの植物観察 忘れていたり見直した植物たち



勝手に「タネツケタンポポ」と命名！？！？

久しぶりに歩くと「何だったけ？」という植物がたくさん出てきます。忘れているんです。植物観察はしょっちゅうやっていないとダメですね。

さて、左のタンポポのロゼットのような葉の中心から伸びているのは、およそキク科の花とは思えない4弁の丸い花でタネツケバナに似ています。「こんなの初めて見た！ これは『タネツケタンポポ』なり！」と、ひとりで納得していますが、こういう遊び心をかき立てるのもフィールドワークの楽しさです。

緑道の金沢橋付近はヤブタバコとオニタバコがたくさん生えているエリアがあります。これまであまり凝視してこなかったこの花。正面から見ると皇室の菊の御紋と同じで、これはこれでよくできているなあ后感心したりして。



2025. 菊の御紋のオニタバコ

ニンソウが元気に展葉

東京では1月からほとんど雨が降らないので地面は乾燥。根茎が浅い地中で過ごすニンソウにとっては水不足で大変なのではないかと思っていましたが、ここでは昨年よりも生育範囲を広げてしっかり展葉していました。





2025.03.02 11:19

冬の名残もオブジェのように

右はセイタカアワダチソウの花穂の枯れ姿。上はアジサイの花（正確には果実の殻）が枯れたもの。普通に見ている分には「汚い」とさえ感じてしまいがちだが、しっかり見るとよくできたオブジェのようです。歳とった私はどちらに見えるのか？



2025.03.02 11:20

失敗ばかりの活動人生／初心に帰ってヘッド（題字）のデザインを一新しました

学生だった20歳の時に当時盛り上がっていた「全学連・反戦青年委員会」の政治運動に参加して以来、**ずっと社会活動**を続けてきました。

社会人人生第一ラウンドの政治活動では、人々のコミュニティづくりの大切さは学んだものの、指導者の身勝手な独善政治に反抗して活動したため、抹殺される憂き目。第二ラウンドのフォトライター業はよい線までいきましたが結局失敗。第三ラウンドは都内某区の社会福祉協議会での仕事でしたが、本来民間事業であるはずなのに頭のとっぺんからつま先まで役人根性に浸りきった体質に嫌気がさして、定年を機に第四の人生＝フリーのボランティア地域活動家に転身しました。

心に病を持つ人たちの就労支援のNPO法人で働いたり、子ども・子育て支援のNPO法人では事務局長も務めました。この運営を軌道に乗せて若いお母さんたちに後を託してからは**板橋区内の自然保護活動**に専念してきました。

今回題字に加えた「COM-MATCHAN」というロゴは、フリーに

なったときに「**コミュニティづくり**」の初心に立ち帰るとの思いでつくったトレードマークで、名刺などに刷り込んで使っていたものです。この度、団体活動をやめたので復活させました。

また、**他人がやっている活動にも注目**したいと考え、エコポリセンターの「かんきょう観察員」は続けることにして、題字下のメッセージを追加しました。

活動のすべてから撤退したわけではなのですが、残り少ない人生でできることは限られています。**できるだけ意味のある生き方**をしたいと思っています。

現在取り組んでいるのは、昨年6月から今年1月まで赤塚公園サービスセンターの事業として行ってきた「花だより」に2～5月分の植物を追加して**1年分の植物紹介冊子**に仕上げる作業。この間、手伝ってくれたセンタースタッフ鷺見さんは1月に退職なさいましたが、引き続き手伝っていただき進めています。